

連合山形ニュース

RENGO YAMAGATA NEWS



日本労働組合総連合会
山形県連合会

〒990-0044 山形市木の実町12-37 大手門パルズ内
☎ 023-625-0555
FAX. 023-624-7661
メールアドレス: info@yamagata.jtuc-rengo.jp

No.126

2016年8月1日

ホームページアドレス: <http://www.rengo-yamagata.jp/>

第24回参議院議員選挙

アベノミクスにNO! 地域に力を!

舟山やすえさん **当選** おめでとう!

7月10日投開票で行われた第24回参議院議員選挙は、自民、公明両党が改選過半数の61議席を上回り、改憲勢力が参院議員総数の3分の2超となりました。

改選1議席を巡り、3氏で争われた山形県選挙区は、無所属元職の舟山康江さんが34万4,356票を獲得し、12万票差をつける圧勝で3年ぶりの国政復帰を果たし、自民新人の月野薫氏を突き放しました。舟山氏の得票率は県全体で59%で、月野氏の38%と比べて21ポイント差。舟山さんは32市町村を制し、月野氏が上回ったのは新庄市と大蔵村のみで、舟形町は同数でした。

連合山形が推薦する舟山やすえさんは、各産別単組、退職者、支援組織が一体となり懸命な取り組みを展開し、最後まで全力で戦い抜いた結果、各地域での地道な活動の積み上げにより着実に支持の裾野を広げ、当選を勝ち取ることができました。共にご支援いただきました皆様に深く感謝いたします。

一方、比例代表は、極めて厳しい戦いの中、各産別が推薦・支持する候補8人が当選したものの4人が惜敗しました。民進党は改選議席43議席から大幅に減らし、32議席を確保するまでにとどまるとともに、民進党をはじめとする反改憲勢力が改選議席54議席から44議席まで落ち込み、惨敗を喫しました。これにより改憲勢力は参議院で3分の2の議席を確保しました。

今回の選挙結果を厳粛に受け止めるとともに、私たちの雇用に直結する雇用・労働政策の実現はもとより、勤労者・納税者・生活者の立場に立った政策を推進する観点から、引き続き、政治活動を強化していかなければなりません。

【山形県選挙区の投票結果】投票率62.22% (前回60.76%)

| | | |
|-----------|----------------|----------|
| 当選 | 舟山 やすえ (無所属・元) | 344,356票 |
| | 月野 薫 (自民・新) | 223,583票 |
| | 城取 良太 (諸派・新) | 15,223票 |



第35回地方委員会を開催

—下期の主要活動方針を決定—

6月10日（金）大手門パルズにおいて、連合山形「第35回地方委員会」を開催し、2016年度上期の活動報告と下期の主要活動方針が提起されました。

冒頭、岡田会長は、4月に発生した「熊本を中心とした九州地震災害」に対する連合、連合山形の支援の取り組み、2016春闘の中間状況と、県内最低賃金の引き上げに向けた連合山形の今後の取り組み、「連合山形・第6次・組織拡大・3ヶ年計画」を踏まえた組織拡大の取り組み、安倍政権の暴走する政治に歯止めをかける「第24回参議院議員選挙での県選挙区、比例候補全員の当選に向けた取り組み」について述べました。

続いて、設楽事務局長より、昨年11月に開催した第28回定期大会以降の活動報告と、2016年度下期の主要活動方針について提起され、最重要課題と位置づけた「組織拡大」の取り組みについて全力を傾注して取り組むことや最低賃金の引き上げの取り組みなどについて、確認・決定されました。

また、連合山形新加盟の2組合が紹介され、OKIサーキットテクノロジー労組の佐藤和昭執行委員長と東北送配電サービス労組の木村憲史山形支部長よりあいさつを受けました。

執行委員2名の交代が確認された後、特別決議として、「クラシノソコアゲ応援団！」キャンペーンなどの世論喚起を通じて、働く者、生活者の立場に立った政治勢力の拡大を始めとする下期活動の着実な実施を組合員一人ひとりの力を結集し、「働くことを軸とする安心社会」実現に向け、団結して取り組むことを確認し岡田会長の「団結ガンバロー」で締めくくりました。



議長を務めた
U A センセン佐藤地方委員



OKIサーキットテクノロジー労組
佐藤執行委員長



東北送配電サービス労組
木村山形支部長

「参議院議員選挙勝利！ 6.10総決起集会」を開催

地方委員会終了後、連合山形「参議院議員選挙勝利！6.10総決起集会」を開催し、連合本部神津会長に出席をいただき、山形県選挙区候補予定者 舟山やすえさん、比例区候補予定者の全員当選に向け連合山形全組合員での取り組みを確認しました。



右は連合本部神津里季生会長

「貧困・奨学金問題について考える」セミナーを開催



5月30日、連合山形「貧困・奨学金問題について考える」セミナーが、山形市大手門パルズで開催され、100名の方々が参加されました。

山形大学人文学部の戸室健作准教授が「貧困の現状と解消に向けた今後の課題～格差社会に歯止めをかける～」と題して講演し、生活保護費以下で暮らす子育て貧困世帯が20年で倍増し、子どもの貧困が全国的に深刻化していることを話されました。

また、連合本部の新谷信幸副事務局長からは「奨学金制度の改善に向けて」と奨学金制度の拡充に向けた連合の取り組みについて話されました。

貧困の連鎖をくいとめ、格差拡大に歯止めをかけるべく、私たち連合運動の役割は大きいです。



戸室健作山形大学准教授



新谷信幸連合本部副事務局長

2016山形県男女共生集会を開催

5月24日大手門パルズを会場に、連合山形男女平等行動委員会主催による「2016山形県男女共生集会」を開催し、47名（男性28人・女性19人）が参加しました。

今年度の開催は若年層を対象とした学習会とし、アサーティブジャパン事務局長の牛島のり子さんを講師に迎え、ロールプレイ中心のアサーティブ講座を行いました。この講座は、自分の気持ちや意見を誠実に、率直に、対等に表現するトレーニングでした。このトレーニングでは、職場・組合・家庭で相手に言いにくい事例のロールプレイを行い、相手に受け入れてもらえるように伝えるコミュニケーションスキルを学びました。

参加者からは「研修の内容を職場や家庭で実践しようと思った」「相手に伝える際のポイントを学べてよかった」「日常あるある」をアサーティブ法で解決できるよう頑張ります」「年上の方の対応や、相手を認め尊重して伝えることは難しいが実践したい」との声がありました。



最低賃金行政に関する「山形労働局要請行動」

—最低賃金の大幅な引き上げを求める—



荒木労働基準部長に要請書と署名を手渡す角谷副会長

連合山形は、2016年度山形地方最低賃金審議会の審議開始を前に、山形県最低賃金の実効ある水準への改善をはかるため、7月4日、山形労働局に要請行動を行いました。

冒頭、「2016年度最低賃金行政に関する要請書」および、3万筆を超える「最低賃金の大幅引き上げを求める署名」を荒木労働基準部長へ最賃対策委員長の角谷副会長より手交しました。その後、要請の主旨と最低賃金引き上げに対する県民の強い思いを訴え、意見交換を行いました。

山形県の現在の最低賃金は時給にして696円ですが、今年度の最低賃金を決める山形地方最低賃金審議会が7月から始まっており、連合山形から労働者側委員として出席しております。

生活できる最低賃金へ！街頭で訴える

大幅引き上げを求める署名行動

7月22日、29日と、山形市アズ七日町前において、「最低賃金の大幅な引き上げを求める街頭署名行動」と街頭宣伝行動を行いました。弁士に立った岡田会長は、「県内の地域最低賃金は現在時給696円で、年間2,000時間働いても年収は130万円であり、この額では健康で文化的な最低限度の生活は不可能である。全国最下位クラスにある金額を大幅に引き上げ、早期に時給1,000円に引き上げていかなければならない。また、県内では最低賃金を守らない経営者も見られ、最低賃金法の遵守を求める。」などと訴えました。

また、街頭では「最低賃金の大幅な引き上げを求める署名」活動を行い、多くの市民の方々よりご協力いただきました。

この街頭活動は、今年度の山形県最低賃金が決定するまで続け、各地域協議会でも実施しております。



連合山形女性委員会が労働局に要請 女性が活躍できる環境整備の促進を！

連合山形女性委員会は、6月16日、山形労働局に「雇用における男女平等に関する要請」行動を行い、青山雇用環境・均等室長に要請書を手交しました。4月1日に施行された「女性の職業生活における活躍推進に関する法律」と来年1月1日施行予定の「改正育児・介護休業法」の事業主等への内容と趣旨の周知を徹底し、女性が就業を継続し、活躍できる環境を整備されるよう、その促進をはかるための要請です。

要請書の手交後、大沼委員長をはじめ9名の女性委員会メンバーが、山形労働局青山室長らと意見交換し、女性活躍推進法に基づく行動計画策定の現状や活用等、それが今後実効あるものとなるように現場の声を伝えました。

女性も男性も性的マイノリティの人たちも、自分らしく働き、生活できる社会を作り上げるためには、こういう現場の声を届けていくことで、少しずつ働く環境が改善していきます。小さな一歩も、積み重ねていくことで大きな一歩にしていきたいと思います。



吉村知事とも懇談

労働局要請後、吉村山形県知事を訪問し、「雇用における男女平等」に関する懇談会を開催しました。

吉村知事からは、山形県が取り組んでいる「男女が共に働き共に育む社会づくり～“やまがたウーマノミクス”の推進～」 「子育て支援の充実・強化 ～保育人材の確保～」について説明していただき、「女性が活躍していくために、旗振りが必要。男女が共に働き、育む社会にはロールモデルも重要。女性知事と言われるが、“女性”としてというより、“一人の人”として仕事をしています。」と熱く語られました。



第6回連合山形会長杯

「ボウリング大会&ビアガーデン交流会」を開催

7月23日（土）、第6回「連合山形会長杯 ボウリング大会&ビアガーデン交流会」を開催し、会場のヤマコーホールには、県内各地より73人の組合員が参加しました。



チームは、構成組織や単組の枠をはずしたシャッフル編成。初めて顔をあわせたにもかかわらず、ストライクやスペアが出ると歓声が響きわたり、ハイタッチをする姿もあり、交流を深めることができました。

ボウリング終了後、ヤマコーホールに会場を移し、表彰式とビアガーデン交流会を行いました。今年度は、「団体の部」での表彰と「レディースの部」の表彰の他、「ピタリ・ゾロメの表彰」を加え、賞品を各自が選ぶ方式をとり、参加者は大いに盛り上がりを見せていました。

優勝チームは、山交労組チーム（山内さん・櫻井さん）、JP労組チーム（手塚さん・米谷さん）でした。

東北ろうきんの 住宅ローン



最長35年間金利と返済額が
変わらないので

安心

全期間固定金利型

＜2016年4月18日から2016年9月末までにお申し込みを受け、2017年9月末までに実行するご融資が対象となります＞

ご融資期間
**最長
35年**

適用金利 **年1.70%**

引下げ後
金利 **年1.60%**

※金利情勢の変動等により、お取扱期間中に適用金利を見直す場合があります。

金利引下げ条件

次のAまたはBに該当する方は「引下げ後金利」でご利用いただけます。

- 団体会員の方、または住宅業者などのご紹介でお申込みをされる方で、以下のうち2項目以上に該当される方
- A
 - ①給与振込（または年金振込）のご指定
 - ②公共料金（通信・電気・水道・NHK・ガス料金）の口座振替を3項目以上ご指定
 - ※固定電話・携帯電話・インターネットプロバイダ等の中から2項目まで
 - ③カードローン（マイプラン）のご契約提携
 - B
 - 他金融機関の住宅ローンのお借り換えをされる方

各種ローンを一本化
まとめて

安心

Change500

＜お取扱い期間＞ 2016年4月1日（金）～2019年3月31日（日）受付分まで

① 住宅関連費用に、現在ご利用中の各種ローンを
500万円まで プラス できる

住宅新築・購入費用、諸費用にご利用中のマイカーローン・カードローンなど、各種ローンを500万円まで合算可能！1本化することで、毎月の返済額や金利を抑えることができます。 ※ただし、負債整理資金は除きます。

② **いろいろ0円でお得！**

- 団体会員の方の保証料はろうきん負担
- 団体信用生命保険料もろうきん負担
- ろうきんダイレクトでの繰上返済手数料が無料

③ 住宅ローンご融資金利
十年0.1%で
夫婦どちらか万一の時に
「安心できる」
「夫婦連生団信」
がご利用いただけます。

※「団体会員の方」とは、東北労働金庫に出資している次の団体に所属されている構成員の方です。①労働組合②国家公務員・地方公務員等の団体③勤労者のための福利共済活動を目的とする団体で、勤務する事業体の事業年数が3年以上経過しているなど、一定の条件を満たす団体（同一企業の団体に限りません）

※新規ご融資時、繰上返済時・返済方法の変更時など、当金庫所定の手数料がかかります。 ※原則としてご融資対象物件（土地・建物）に第1順位の抵当権を設定していただきます。 ※店頭でご希望にあわせた返済額の試算をいたします。また、東北ろうきんホームページでも試算ができます。 ※審査の結果、ご融資できないなどご希望に添えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。 ※店頭で説明書をご用意しています。詳しくはお近くのろうきん窓口にお問い合わせください。



東北労働金庫 山形県本部 ☎ 0120-1919-62

＜2016年8月1日現在＞

ZENROSAINNEWS



0616A012
全労済の
住まいる共済

◎火災共済 ◎自然災害共済
高水等特別共済火災共済・自然災害共済・個人賠償責任共済

**火災はもちろん、台風・地震など
自然災害にも備えられる
「住まいと家財の保障」。**

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら
全労済
全国労働者共済生活協同組合連合会

全労済山形県本部 〒990-0827 山形市城南町1-18-22
(山形県勤労者共済生活協同組合) TEL 023-646-4666 (代)



頼れる窓口
営業 9:00～17:00
(土・日・祝日除く)

中央支所 〒990-0827 山形市城南町1-18-22
TEL.023-646-4666

酒田支所 〒998-0843 酒田市千石町2-13-16
TEL.0234-23-3160

米沢支所 〒992-0012 米沢市金池3-2-7
TEL.0238-22-6065

新庄支所 〒996-0084 新庄市大手町5-6
TEL.0233-23-5995

鶴岡支所 〒997-0033 鶴岡市泉町8-73
TEL.0235-23-6100

長井支所 〒993-0006 長井市あら町5-36
TEL.0238-83-6035